
～超高速大容量モータおよび電圧型可変速ドライブ装置を採用～ 中国 西気東輸II線(東側)向け大型電機設備を受注

東芝三菱電機産業システム株式会社(社長: 榎原 潤一)は、中国石油天然気集团公司(China National Petroleum Corporation: CNPC)グループ傘下の中国石油管道建設項目經理部(Petro China Pipeline Construction Administration Department)より、西気東輸II線(東側)プロジェクトのガスパイプラインのコンプレッサ用に超高速大容量モータ及び電圧型可変速ドライブ装置を含む電機設備 12 セットを約 40 億円で受注致しました。これは、昨年既に受注した同 II線(西側)に繋がるパイプラインの東側用であり、2011 年末から機器の現地搬入および据付試験調整を開始し、2013 年初頭には稼動する予定です。

当社は 2003 年 10 月に株式会社東芝と三菱電機株式会社の産業部門の合併会社として設立以降、Oil & Gasプラント、パイプライン向けの超高速大容量モータ&ドライブシステム事業を強力に推進してまいりました。なかでも中国市場については、昨今の目覚ましい経済成長を背景にエネルギー需要が高まり、多数の、西気東輸プロジェクトのような大型のOil & Gasプロジェクトが、国家的なプロジェクトとして進行中です。今回の受注により今後のさらなるCNPCからの継続的な受注、並びにCNPC以外のOil & Gas関連顧客への販売拡大が期待できます。

【 受注の背景 】

Oil & Gasパイプラインのコンプレッサの駆動方式は従来のガスタービン駆動方式に変わり、近年は超高速大容量モータ&ドライブ装置を採用した環境対応型の電気駆動方式が注目されています。LNG を初めとする世界の Oil & GasプラントにおいてもCO2削減、環境保全へのニーズは高まっており、今後は電気駆動式の超高速大容量モータ&ドライブ装置の採用が拡大するものと推測しています。

今回の入札では、ドライブ方式として、電圧型可変速ドライブ装置が客先の基本仕様で指定され、当社並びに欧米企業も全て電圧型可変速ドライブ装置にて入札が行われました。その中で当社は技術、品質、価格、生産能力において高く評価され受注に至りました。

【 電気駆動方式の超高速大容量モータ&ドライブシステムの概要 】

超高速大容量モータ&ドライブシステムによる電気駆動方式は、ガスタービン駆動方式で発生するCO2排出を無くし、また優れた操作性や容易な保守性から世界のエネルギー業界が新世代駆動方式として期待しています。

〈主な特徴〉

- ・ 超高速大容量モータ(18.5MW、毎分 4800 回転)の採用により、従来必要であった回転数を増速するギアを不要とし、コンプレッサを直接駆動するので、増速機のスペースが不要で、設備全体が簡素化され、動力伝達ロスが低減。
- ・ 電圧型可変速ドライブ装置の採用により、安定した電動機の可変速制御を実現。高調波が低減されるため、電力システムの安定化に寄与。

【プロジェクトの概要】

西気東輸は、中国の西部国境側から東南部沿海側まで、天然ガスをパイプラインで輸送する中国の国家プロジェクトです。第Ⅰ線は2000年に着工し完成、現在その2期工事が進行中です。昨年度受注の西気東輸第Ⅱ線西側は、当社所掌のモータとドライブの出荷を完了し、今年6月より据付工事を開始しています。今回の入札対象の西気東輸Ⅱ線(東側)は、その西気東輸第Ⅱ線(西側)に繋がるパイプラインで中衛以東広州にいたる約2000kmの距離があります。

報道関係からのお問い合わせ先

東芝三菱電機産業システム株式会社 経営企画部

Tel: 03-5441-9140 Fax: 03-5441-9125